

令和5年4月3日公表

回答数 13人/11人

	チェック項目	はい	まあいいえ	どちらでもない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見に対する事業所の方針
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	0	0	0			
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	12	0	0	0			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※ i になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11	1	0	0			・教員住宅を改装しての事業所ですので、バリアフリーとはなっていませんが、お子さんの安全を第一に、またわかりやすい環境を作っていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	12	0	0	0			
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画※ ii が作成されているか	12	0	0	0			
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12	0	0	0			
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	1	0	0			
	8 活動プログラム※ iii が固定化しないよう工夫されているか	12	0	0	0			
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7	1	0	4		・入所して間もないので交流はありませんでした	・今年度は入園前の交流保育の希望がなく、実質保育園等のお子さんとの交流の場はありませんでした。どのような形で交流ができるのか、行政とも相談していきたいと思います。
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	0	0	0			
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	12	0	0	0			
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング※ iv 等)が行われているか	11	1	0	0			・日々の活動の中で、保護者の方との振り返りや相談の時間を十分に取れるように心掛けています。トレーニングという大々的なことはできていませんが、この点を評価頂けているのかと思います。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	12	0	0	0		・子どもの様子をよく聞いてくれ、子どもをよく知ろうとくださっていることが分かり嬉しいです。	・うまく気持ちを表現できないお子さんの気持ちを、しぐさや表情から理解できるよう努めています。保護者の方から頂く情報もとても大切で、親御さんに一緒に通っていただけていることが、支援に大きく繋がっていると感じています。

保護者への説明等	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	0	0	0		
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	3	0	2		・交流会を開催しましたが、1回しかできませんでした。参加された方から好評をいただきました。今後は多くの方が参加できるように回数を増やして計画していきたいと思います。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	11	0	0	1		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12	0	0	0		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	10	2	0	0		・自己評価の結果はホームページ上で更新しています。また、ステップだよりの発行を始めました。交流会や避難訓練の様子など、事業所内の様子をお伝えしていきたいと思います。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	11	0	0	1		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	9	0	0	3		・年に2回避難訓練を実施しています。マニュアルも作成していますが、周知していただけるよう改めて提示していきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	2	0	3		・利用の日と訓練日が一緒にならない場合もあるかと思いますが、結果をお伝えしご報告という形で訓練の共有をしたいと思います。また、回数など再検討していきます。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	9	1	0	2	・家では行きたくないというが、行くと楽しそうに活動している。	・お子さんが楽しく活動できる内容、できた！を実感して自信につながるような活動を取り入れて、また行きたいと思っていただけるように努めてまいります。
	23	事業所の支援に満足しているか	12	0	0	0		

※ i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

※ ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

※ iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※ iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して特性を理解したり、特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

(まとめ)

日頃より、事業所運営へご理解いただきありがとうございます。

今年度もコロナウイルスへの感染対策を取りながらの活動となり、保護者の皆さま同士の繋がりや交流の場を設けることが十分に出来ませんでした。また、個別での利用が多いこともあり、全員に訓練の実施ができないため、事業所の感染対策や、防災・防犯対策などのマニュアルや訓練の様子が皆さんに伝わっていないことがわかってきました。次年度はより多くのお子さんへ訓練を実施したり、マニュアルのみえる化を意識して発信もしていきたいと思います。

活動プログラムはお子さんに合わせた内容となるよう、丁寧な振り返りを大切に、計画立案を心掛けています。お子さんに楽しく通所していただけるということを意識して、更なる支援の充実を図ってきたいと思います。